

農林水産・建設委員長報告(概要)

・議案3件を原案可決、認定2件を認定

【議案第38号】原状回復工事等請求事件に係る訴訟の和解について

質疑 今回、こういう問題が生じたということ、再発防止を何か考えているのか。

答弁 今回の問題を踏まえ、隣接の境界など触らない場合についても、同意書に必ず印鑑をもらって事業をするように徹底している。

【議案第40号】令和4年度南島原市一般会計補正予算(第4号)

質疑 新規養殖実証事業補助金のアサリの分について、場所はまだ決まっていないとのことだが、これは予算が通ってから場所を探すというような考えか。

答弁 今のところ、各漁協でアサリがいそうなど

ころを調査している。これから、そこがいいのか漁協と協議をさせてもらいたいと思っている。

質疑 この事業を始める発端は、何から始まったのか。

答弁 今、漁場環境が大きく変化をしている。漁獲量自体が伸び悩んで、減少している。そういったなかで、獲る漁業から育てる漁業を考え、漁業者の所得向上につながるということから、この事業を考えた。

また、ウニについても、磯焼けの原因として、捕獲して全部潰しているが、豊富にあるワカメの茎とか残った葉っぱをエサとして、駆除するウニをお金にできないかという実証実験を行う事業である。



畜養ウニ

【認定第4号】令和3年度南島原市水道事業会計決算の認定について

質疑 コロナ禍やウクライナ侵攻などの影響により、水道の部品に影響はないのか。

答弁 価格については、3割ぐらい高騰している。部品の納入の状況では、電気部品の中に一部、納入が遅くなっているものがあるが、配管類に関しては、通常とおりである。

質疑 動力費で1億円あまりの支出があるが、今後も電気料金の値上げが予想されるが、電力費の

抑制について検討しているのか。

答弁 現在、高压電力はミナサボとほかの一般電力は九電と契約をしている。今のところ、比較は行っていないが、今後の状況を踏まえながら、比較を急いで進めたいと考えている。

質疑 キャッシュフローを見ると、現金が昨年より減少している。料金については、平成23年に改正されて、随分、期間が過ぎている。日本水道協会の指標では3年から5年が料金の検討の期間となっているが検討をしているのか。

答弁 現在の経営戦略が、平成30年に策定されているが、投資的経費の財源は全くなしでの考え方であった。しかし、令和3年度に、簡水統合などによる水道事業への負担増により、投資的経費に一般会計からの繰り入れと過疎債が充当できるようにになり、それを活用しながら、現在、経営し

ている。現在の経営状況に合わせて、検討しているところである。

料金の見直しについては、物価高騰があり、コロナ禍でもあるので、皆さんの負担をシビアに考えながら、今後、料金改定を考えていきたい。



龍石浄水場

【認定第5号】令和3年度南島原市下水道事業会計決算の認定について

質疑 経費回収率が、昨年より、急激に23%ほど落ちているが、何か理由があるのか。

答弁 令和3年度において、特別な経費として、公共下水道の事業認可変更の作成委託が発生し

た。この分が経費として増えたため、回収率が減っている。

質疑 下水道料金については、幾つかの事業があり、料金が統一をされない状況である。料金の統一については、どのように考えているのか。

答弁 下水道事業には、3つの体系がある。料金に違いがあり、見直し、改定に向けて検討している。利用者から「料金は据え置いてほしい」との要望もあり、時間がかかっている状況である。統一を先に進めていくべきと考えているので、検討を図っていきたい。



くちのつ水処理センター